

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公表番号】特表 2011-525576 (P2011-525576A)
 【公表日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-038
 【出願番号】特願 2011-515108 (P2011-515108)
 【国際特許分類】

E 0 4 G 3/24 (2006.01)

【 F I 】

E 0 4 G 3/24 3 0 1 C

E 0 4 G 3/24 3 0 1 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 6 月 20 日 (2012.6.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

プラットフォーム (2) において、
基幹中央モジュール (4) と、多数の伸縮自在な放射状支持梁部材 (6) と、前記プラットフォーム (2) の直径とは無関係な弓形モジュール (1 0 、 1 2 、 1 4) の形態の多数の前記建設要素部材とを具備することを特徴とする、プラットフォーム (2) 。

【請求項 2】

前記プラットフォーム (2) が筒状の塔についての内部プラットフォームである、請求項 1 に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 3】

前記筒状の塔がスチール製の風車塔 (2 4) である、請求項 2 に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 4】

前記プラットフォーム (2) が、前記塔 (2 4) の内壁 (2 2) に適合するようにその場所で多数の建設要素部材から組み立てられるようになっている、請求項 3 に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 5】

前記伸縮自在な放射状支持梁部材 (6) の内端部が前記基幹中央モジュール (4) と堅く連結されていることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 6】

取付部材によって、前記伸縮自在な放射状支持梁部材 (6) の外端部 (8) が、前記塔 (2 4) の内壁 (2 2) に連結されるようになっていることを特徴とする、請求項 4 に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 7】

前記取付部材が磁石を具備する、請求項 6 に記載のプラットフォーム (2) 。

【請求項 8】

前記基幹中央モジュール (4) と、前記建設要素部材と、前記放射状支持梁部材 (6) の少なくとも内側部分とが成形によって作られ、それらの成形材料が、プラスチックの場

合には炭素繊維またはガラス繊維のような適切な強度を与える添加物によって強化されることができるところを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【請求項 9】

前記建設要素部材が、前記基幹中央モジュール（ 4 ）と前記塔（ 2 4 ）の内壁（ 2 2 ）との間の範囲を覆うための少なくとも二種類の弓形モジュール（ 1 0 、 1 2 、 1 4 ）と、前記塔（ 2 4 ）の内壁（ 2 2 ）に隣接する外周リングとして設置されるための多数の二品型弓形モジュール（ 1 6 ）とから成ることを特徴とする、請求項 4 に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【請求項 1 0】

前記二品型弓形モジュール（ 1 6 ）の各々が、前記プラットフォーム（ 2 ）の中心に向かって設置される固定部（ 1 8 ）と、前記プラットフォーム（ 2 ）の変化する直径に合うように水平位置から傾斜位置に曲がることのできるヒンジ部（ 2 0 ）とを具備することを特徴とする、請求項 9 に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【請求項 1 1】

前記固定部が、前記弓形モジュール（ 1 0 、 1 2 ）の一つの外端部に連結されるようになっている前記ヒンジ部の連結部分から成ることができ、または前記弓形モジュール（ 1 0 、 1 2 ）の一つからさえも成ることができるところを特徴とする、請求項 9 に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【請求項 1 2】

前記少なくとも二種類の弓形モジュール（ 1 0 、 1 2 、 1 4 ）は、該弓形モジュール間の差異が該モジュールの直辺間の角度及び該直辺の幅であり且つ前記モジュールがスナップ式ロックまたはパネロックによって組み立てられるのに適するように作られることを特徴とする、請求項 9 に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【請求項 1 3】

強化用スチールバンド（ 2 8 ）または強化用スチール板（ 2 8 ）が、前記伸縮自在な放射状支持梁部材（ 6 ）間と、相互に連結された弓形モジュール（ 1 0 、 1 2 、 1 4 ）の端部間とにおいて締め付けられることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のプラットフォーム（ 2 ）。

【手続補正 2】

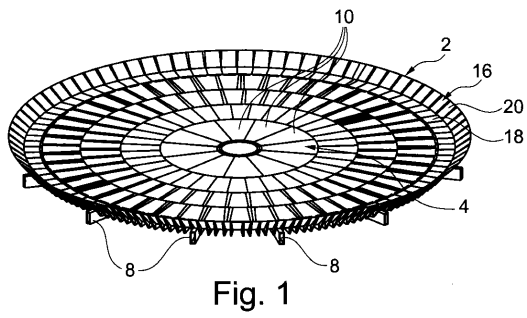
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

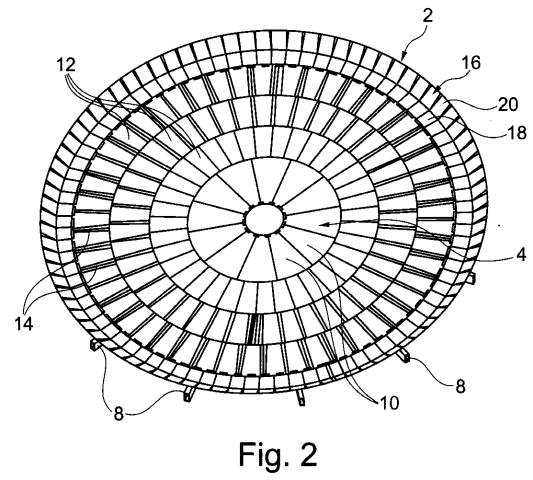
【補正方法】変更

【補正の内容】

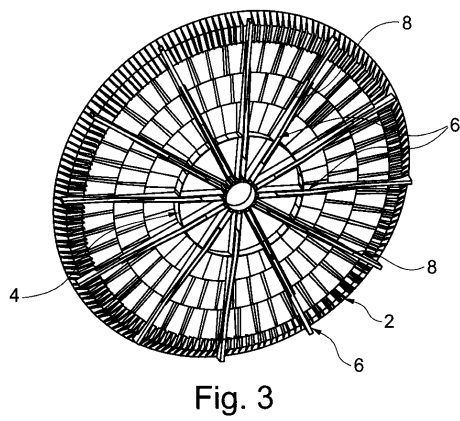
【 図 1 】



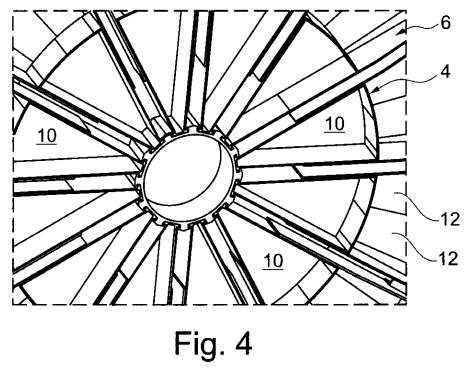
【 図 2 】



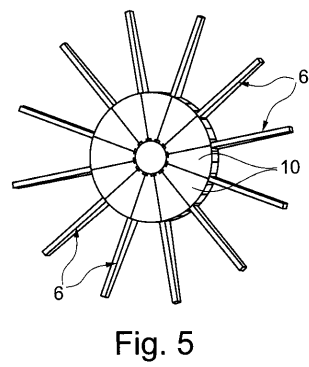
【 図 3 】



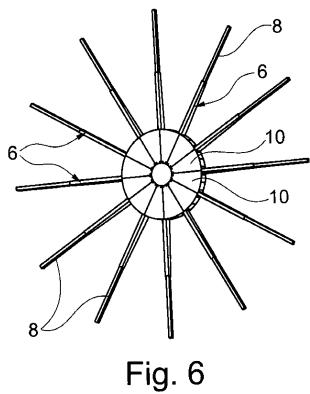
【 図 4 】



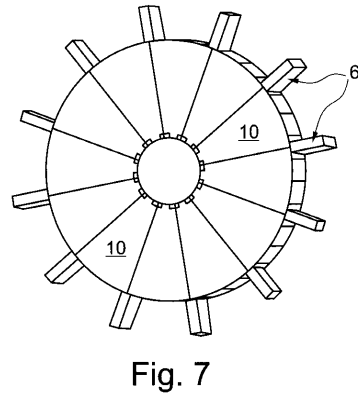
【 図 5 】



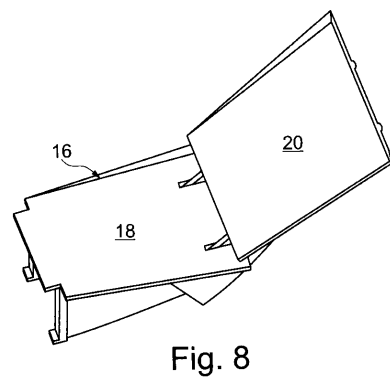
【 図 6 】



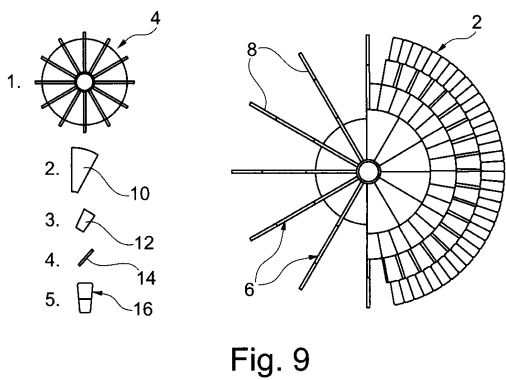
【 図 7 】



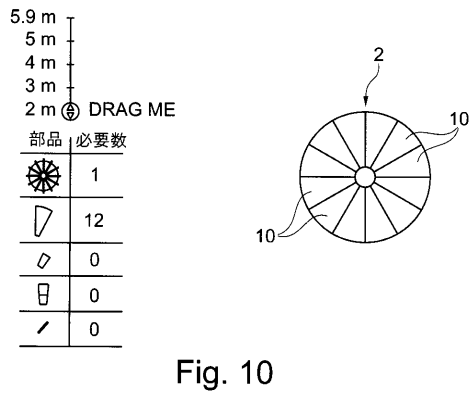
【 図 8 】



【 図 9 】



【 図 1 0 】



【 図 1 1 】

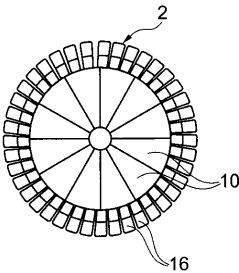
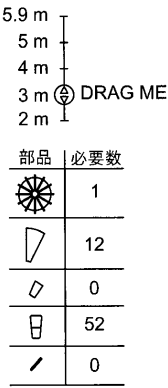


Fig. 11

【 図 1 2 】

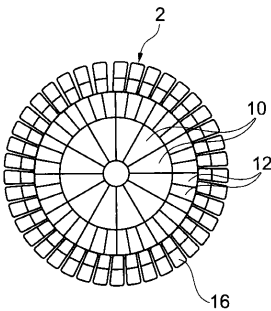
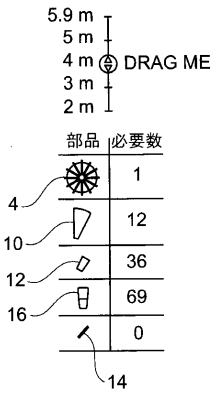


Fig. 12

【 図 1 3 】

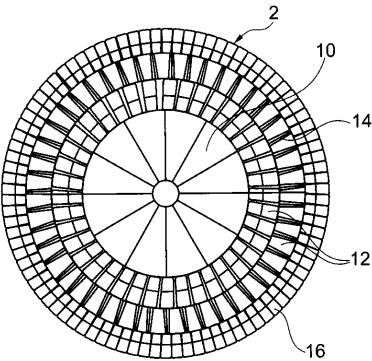
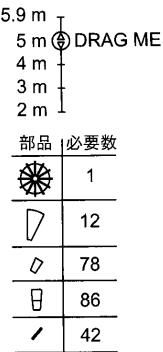


Fig. 13

【 図 1 4 】

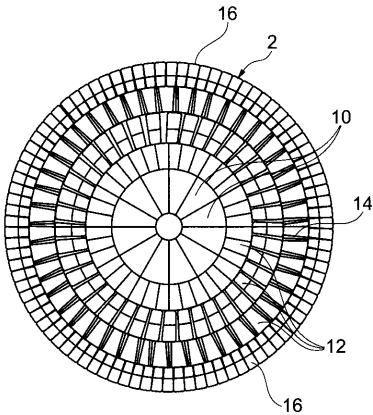
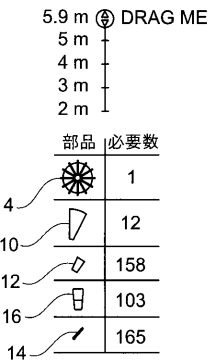


Fig. 14

【図 15】

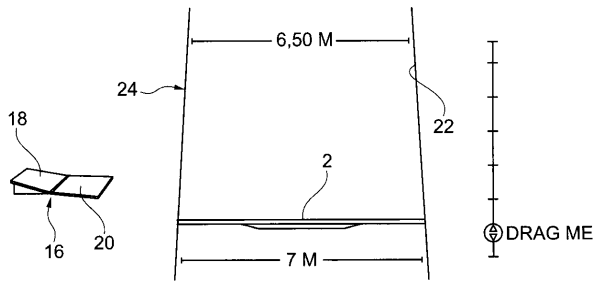


Fig. 15

【図 17】

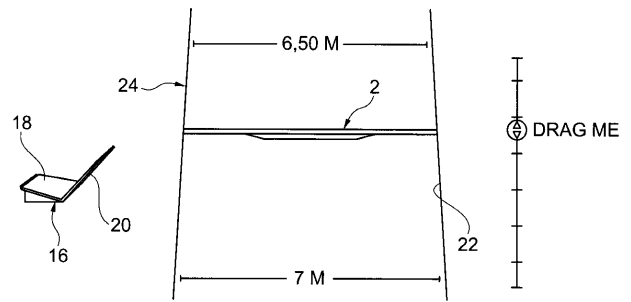


Fig. 17

【図 16】

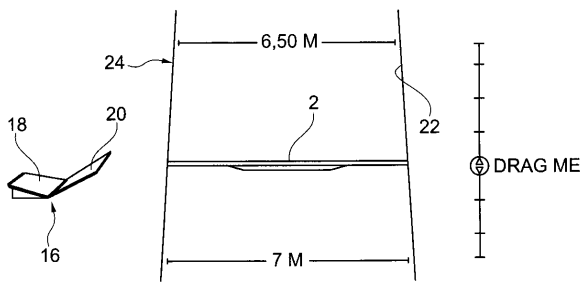


Fig. 16

【図 18】

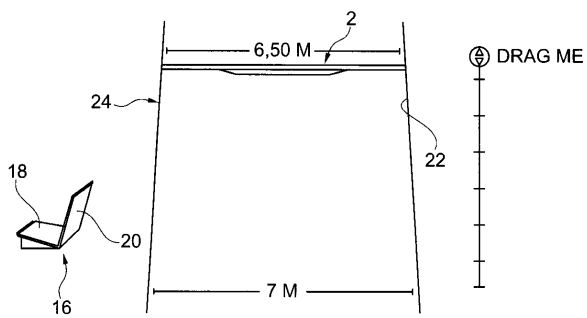


Fig. 18

【図 19】

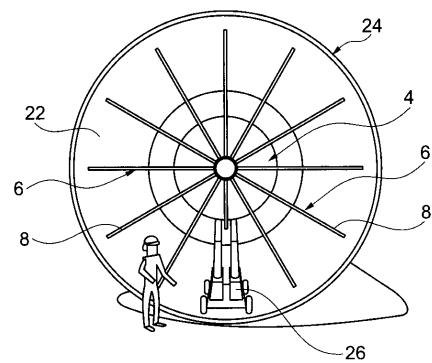


Fig. 19

【図 20】

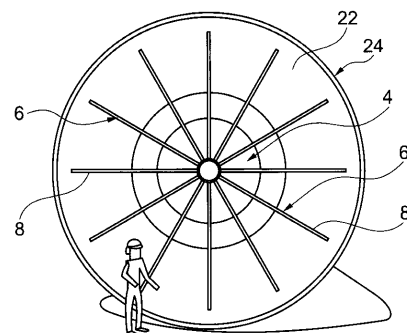


Fig. 20

【図 2 1】

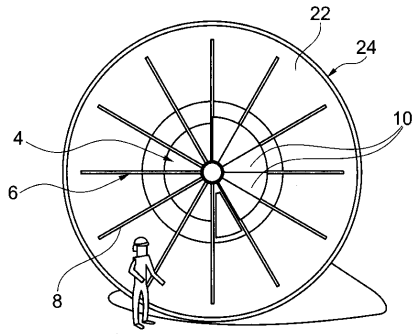


Fig. 21

【図 2 2】

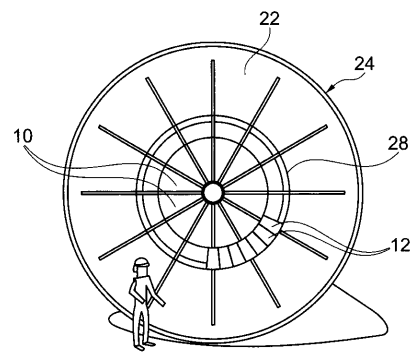


Fig. 22

【図 2 3】

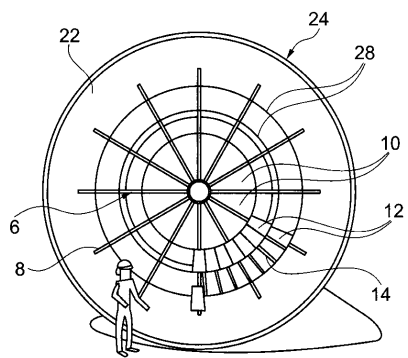


Fig. 23

【図 2 4】

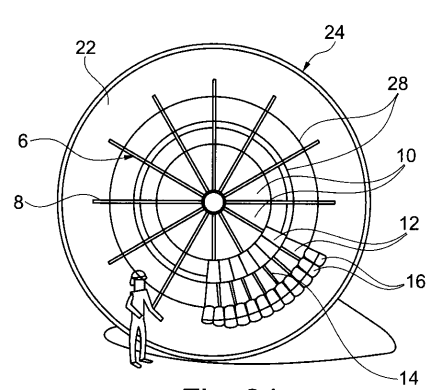


Fig. 24

【 図 2 5 】

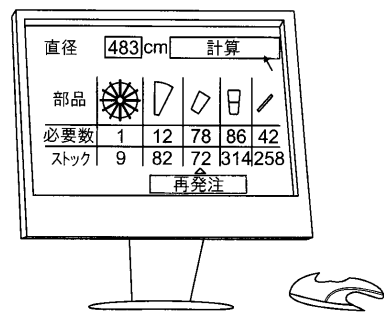


Fig. 25

【 図 2 7 】

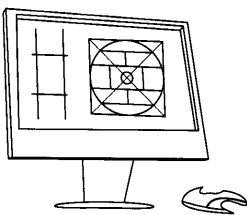


Fig. 27

【 図 2 6 】

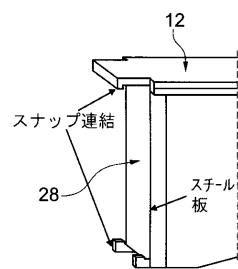


Fig. 26

【 図 2 8 】

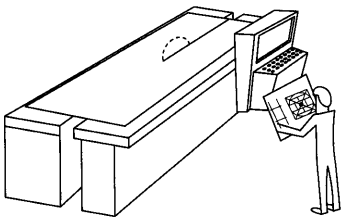


Fig. 28